「次期学習指導要領」に向けての取り組みに関する調査（平成28年度）

【趣旨】

　教育研究委員会では，平成28年8月26日に公表された「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に含まれる事項のうち，ポイントとなる事項をいくつか挙げ，それらに関連する教育研究が各附属学校園において実施，または計画されているかについての調査を行うことにいたしました。次の調査実施要領により，ご回答いただけますようよろしくお願いいたします。

【調査実施要領】

* 回答用紙の提出方法：各地区の教育研究委員にメールに添付してお送りください。尚，メールでの提出がご無理な場合は回答用紙を各地区の教育研究委員に郵送してください。提出先（e-mail address）については，本アンケート用紙の最後のページに記載してありますので，ご参照ください。
* 提出期限：平成28年12月15日（木）（お忙しいところ申し訳有りません。）
* 問い合わせ先：静岡大学教育学部附属島田中学校　山田　耕三
　　　　　　　E-mail: kohzo.yamada@shizuoka.ac.jp
　　　　　　　電話：054-281-4135（静岡大学山田研究室），
　　　　　　　　　　0547-35-6500（静岡大学教育学部附属島田中学校）

回答用紙

回答校園：　　　　　　　　　大学　　　　　　　　　　学部　附属

　以下の質問について: 選択肢から選ぶ場合はその番号を，記述回答の場合はその回答文をそれぞれ解答欄にご記入ください。記述回答の場合，解答欄の枠のサイズを変更していただいても構いません。

≪はじめに≫ 学校園・回答者についてご回答下さい。

回答者： １校長　２副校長　３研究主任　４その他（　　　　　　　　）

地　区： １北海道　２東北　３関東　４北信越　５東海　６近畿　７中国

　　　　　８四国　９九州

校　種： １幼稚園　２小学校　３中学校　４高等学校　５中等教育学校

 ６特別支援学校，７その他（小中併設校など）

≪全校種に関する項目≫

Ａ「社会に開かれた教育課程」について

問１　「社会に開かれた教育課程」に関する取組みに関して，該当する番号を１つ選んでください。

① すでに行っている。　　　　　　　　　→問１-１,２へ

② まだ行っていないが計画はしている。　→問１-１,２へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　　→問１-２へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　　→問１-２へ

問１-１　問１で①,②と回答した場合，どのような取り組みを行ったり計画したりしていますか。地域の人的・物的資源の活用や放課後や土曜日等の活用等，具体的な活動について記述してください。

問１-２　取り組みを行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

Ｂ「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」について

問２　アクティブ・ラーニングを重視した授業または活動に関して，該当する番号を１つ選んでください。

① すでにほぼ全校的に行っている。　　　　　　　　　　→問２-１,２へ

② すでにいくつかの教科・科目や活動で行っている　　　→問２-１,２へ

③ まだ行っていないが計画はしている。　　　　　　　　→問２-１,２へ

④ 検討中である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　→問２-２へ

⑤ 未定である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→問２-２へ

問２-１　問２で①，②，③と回答した場合，授業または活動においてどのような取り組みを行ったり計画したりしていますか。具体的に記述してください。

問２-２　取り組みを行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

Ｃ「カリキュラム・マネジメント」について

問３　管理職や教務主任のみならず，学校全体での教育課程総体の力を発揮させて資質・能力を育成できるような，教科横断的な「カリキュラム・マネジメント」の取り組みに関して，該当する番号を１つ選んでください。

① すでに行っている。　　　　　　　　　　→問３-１,２へ

② まだ行っていないが計画はしている。　　→問３-１,２へ

③ 検討中である。　　　　　　　　　　　　→問３-２へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　　　→問３-２へ

問３-１　問３で①,②と回答した場合，どのような視点を重要視して取り組んだり，計画したりしていますか。

問３-２　取り組みを行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

Ｄ「目標に準拠した評価」について

問４　観点別評価（学習状況を分析的に捉える）だけではなく個人内評価（個人の良い点や可能性，進歩の状況について評価する）及び資質・能力を多角的・多面的に見取る評価について，該当する番号を１つ選んでください。

① 行っている。　　　　　　　　　　　→問４-１,２から校種別の問へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問４-１,２から校種別の問へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問４-２から校種別の問へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問４-２から校種別の問へ

問４-１（問４で①,②と回答した場合）どのような特徴ある評価を行ったり計画したりしていますか。

問４-２　評価を行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて、記述してください。

≪校種別のアンケート≫

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 校　種 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
| 質　問 | 問５へ | 問６へ | 問７へ | 問８へ | 問11へ |

≪幼稚園≫

・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について

問５　幼児教育において育みたい資質・能力の整理と，小学校の各教科との接続のあり方において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として，次の10項目が「審議のまとめ」にあげられていますが，これらに関する研究への取組みについて、①～④の番号で答えてください。

|  |
| --- |
| ア　健康な心と体 　　　 カ　思考力の芽生えイ　自立心　　　　　　　　　　　キ　自然との関わり・生命尊重ウ　協同性　　　　　　　　　　　ク　数量・図解，文字等への関心・感覚エ　道徳性・規範意識の芽生え　　ケ　言葉による伝え合いオ　社会生活との関わり　　　　　コ　豊かな感性と表現 |

① 行ったことがある。　　　　　　　　→問５-１,２から問12へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問５-１,２から問12へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問５-２から問12へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問５-２から問12へ

問５-１（問５で①,②と回答した場合）上記ア〜コのどの項目の教育研究を行ったり計画したりしましたか。主なもの３つの記号を選んでください。また，その教育研究の研究期間及び研究内容についての簡単な説明を記述してください。

問５-２　教育研究を行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

問12へ

≪小学校≫

・「外国語教育（英語教育）」について

問６　高学年における外国語教育（英語教育）の教科化に向けての研究発表会（研究協議会，公開研究等）について，該当する番号を１つ選んでください。

① 行ったことがある。　　　　　　　　→問６-１,２,３から問12へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問６-１,２,３から問12へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問６-３から問12へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問６-３から問12へ

問６-１（問６で①,②と回答した場合）研究対象は次のア〜キのどの項目でしたか。主なもの３つの記号を選んでください。

ア　国語教育との効果的な連携

イ　「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の５つの領域のバランスのとれた育成

ウ　ＩＣＴ等を活用した効果的な言語活動の工夫

エ　短時間学習を含む授業時間の設定や時間割編成等の教育課程

オ　教材の整備

カ　指導者の確保

キ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問６-２（問６で①,②と答えた場合）問６-１で選んだ項目それぞれに関する研究発表の内容について簡単な説明を記述してください。

問６-３　教育研究を行ったり計画・検討したりする上で課題となることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

問12へ

≪中学校≫

 ・「中学校教育を通じて育むことを目指す資質・能力」について

問７　教科等横断的な視点からの学習について，該当する番号を１つ選んでください。

1. すでにほぼ全校的に行っている。 →問７-１,２から問12へ
2. すでにいくつかの教科・科目の活動で行っている。 →問７-１,２から問12へ
3. まだ行っていないが計画はしている。 →問７-１,２から問12へ
4. 検討中である。 →問７-２から問12へ
5. 未定である。 →問７-２から問12へ

問７−１（問７で①,②,③と回答した場合）どのようなことを行なったり計画したりしていますか。

問７−２ 取り組みを行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

問12へ

≪高等学校≫

 ・「高大接続改革に関連する教育課程の在り方」について

問８　次期改訂における，社会で生きていくために必要となる力を共通して身につける「共通性の確保」と，一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばす「多様性への対応」の観点を軸にしながらの教科・科目構成の見直しについて，該当する番号を１つ選んでください。

① 行っている。　　　　　　　　　　　→問８-１,２へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問８-１,２へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問８-２へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問８-２へ

問８-１　次期改訂では，各教科，特に〔国語科〕，〔地理歴史科〕，〔公民科〕，〔外国語科〕，〔情報科〕，〔総合的な学習の時間〕で具体的な科目構成の見直しを目指していますが，問８で①,②と回答した場合，どの教科・科目でどのような見直しを行ったり計画したりしていますか。

問８-２　見直しを行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

問９　次期改訂における，教科・科目構成の見直しに関する研究発表会（研究協議会，公開研究等）について，該当する番号を１つ選んでください。

① 行ったことがある。　　　　　　　　→問９-１から問12へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問９-１から問12へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問12へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問12へ

問９-１　問９で①,②と回答した場合，どの教科・科目でどのような内容の研究発表を行ったり計画したりしていますか。

問12へ

≪特別支援学校≫

 ・「次期学習指導要領の向けた教育課程の方向性」について

問10　次期学習指導要領では，重視する方向性として次のア〜エの４項目が挙げられています。

　　これらの項目に関する研究への取組みについて、①～④の番号で答えてください。

|  |
| --- |
| ア　教育が普遍的に目指す根幹を堅持しつつ，社会の変化に視点を向け，柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」の考え方イ　育成を目指す資質・能力についての基本的な考え方ウ　課題の発見や解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた指導方法の充実エ　カリキュラム・マネジメントなど，初等中等教育全体の改善・充実 |

① 行っている。　　　　　　　　　　　→問10-１,２から問11へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問10-１,２から問11へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問10-２から問11へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問10-２から問11へ

問10-１（問10で①,②と回答した場合）上記ア〜エのどの項目の教育研究を行ったり計画したりしていますか。主なもの３つの記号を選んでください。また，その教育研究の内容についての簡単な説明を記述してください。

問10-２　教育研究を行ったり計画・検討したりする上で課題となっていることや，その解決に向けて工夫・努力していることなどについて，記述してください。

問11　問10のア〜エのいずれかの項目に関する研究発表会（研究協議会，公開研究等）について，該当する番号を１つ選んでください。

① 行ったことがある。　　　　　　　　→問11-１から問12へ

② 行っていないが計画はしている。　　→問11-１から問12へ
③ 検討中である。　　　　　　　　　　→問12へ

④ 未定である。　　　　　　　　　　　→問12へ

問11-１（問11で①,②と回答した場合）どの項目のどのような内容の研究発表を行ったり計画したりしましたか。

≪ 全校種に関する項目≫

問12　現在行っている教育研究は，次のアからオの項目と関連がありますか。

|  |
| --- |
| ア 「社会に開かれた教育課程」についてイ 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」についてウ 「カリキュラム・マネジメント」についてエ 「目標に準拠した評価」についてオ 「ＩＣＴの活用」について |

① いずれかに関連がある。　　　　　　　　　　→問12-１へ

② いずれにも関連がない。　　　　　　　　　　→問12-２へ

問12-１（問12で①と回答した場合）上記ア～オの中から関連の深い項目を３つまで選んでください。

問12-２（問12で②と回答した場合）どのようなテーマで教育研究を行っていますか。具体的に記述してください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙の提出先

北海道・東北　地区 吉川　和夫（宮城教育　小）k-kikka@staff.miyakyo-u.ac.jp

関東　地区 沖濱　真治（東京中等教育）okihama@hs.p.u-tokyo.ac.jp

北信越　地区 宮薗　衛（新潟　新潟小）miyazono@ed.niigata-u.ac.jp

東海　地区 窪野　清（静岡　島田中）kubono.kiyoshi@shizuoka.ac.jp

近畿　地区 眞田　巧（大阪教育　池田小）sanada@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

中国　地区 神津　弘之（広島　小）hkouzu@hiroshima-u.ac.jp

四国　地区 平田　浩一（愛媛　小）hirata@ehime-u.ac.jp

九州　地区 鵜戸　周成（宮崎　小）s-udo1962@cc.miyazaki-u.ac.jp